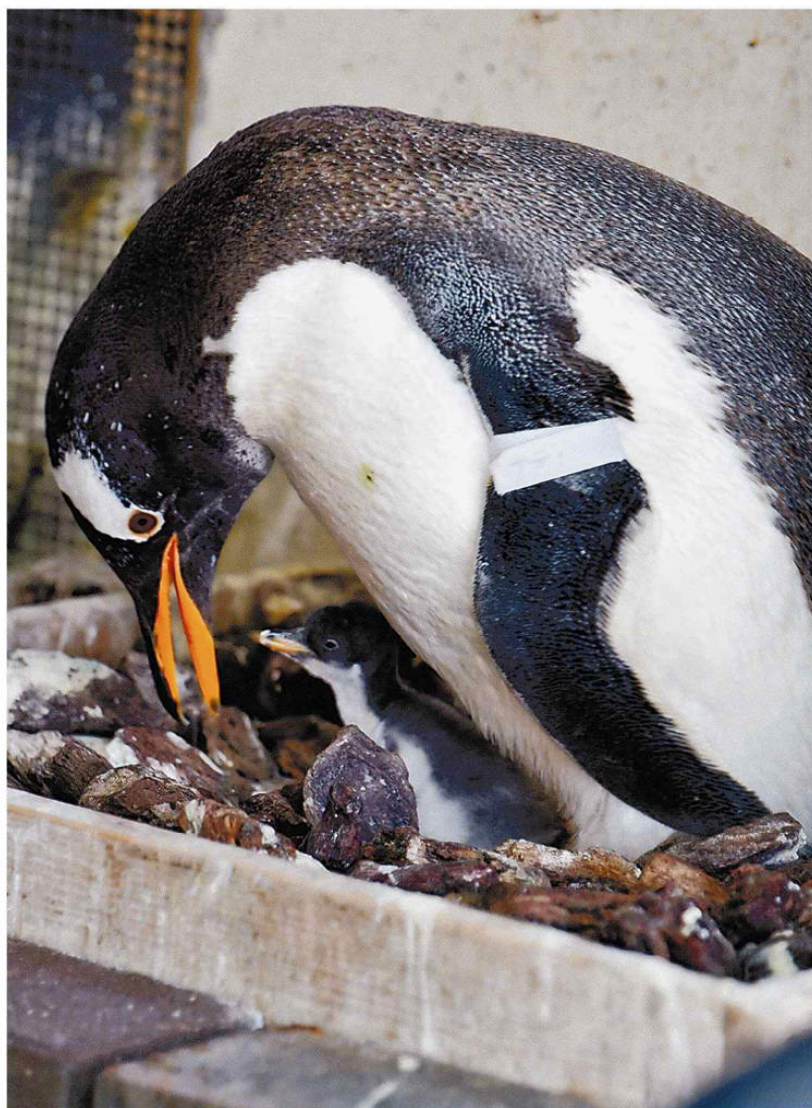




年 組 名前

道新で
ワークシート

ペンギンのひな すくすく成長



3日にふ化したひな。4歳の雌が代理で子育てする
(おたる水族館提供)

おたる水族館60周年

おたる水族館(祝津3)でジェンツーペンギンのペア1組が生んだ卵(2個)からひな2羽が生まれ、すくすくと育っている。28歳の雄と10歳の雌のペアで、父親が高齢のため、今回は

他のペアが代わりに子育てする。

同館のジェンツーペンギンの卵のふ化は5年連続。今年4月26日と5月1日に1個ずつ産卵し、それぞれ6月2、3日にふ化した。同館によると、ペンギンは自分の産んだ卵でなくても

育児に取り組む習性があり、代理の子育ては4歳と3歳のいずれも雌が受け持っている。

2羽のひなは誕生直後、いずれも体重が100gに満たず手のひらに乗るほどだったが、14日時点で体長20cm、体重600gまで成

長。性別は血液検査で年内に判明する。

ひなは現在、ペンギン舎の中にいるため見られない。川本守主任は「順調に育てば夏休みごろに幼鳥の姿が見られます」と話す。名前は年内に職員が決める。(徳留弥生)

2018年6月18日朝刊小樽・後志版(記事は再編集しています)

①今回は他の雌(めす)が代理で子育てをしています。ペンギンのどのような習性(しゅうせい)によるものでしょうか。書き抜きましょう。

②2羽のひなは、14日時点でどのくらいの大きさになったでしょうか。別なものに例えましょう。